

Point

1

見える・魅せる機能あれこれ

現場情報の確認や継続作業をスムーズにおこなうために「見える化」したメイン画面。
また、使用頻度の高いメインメニューでぜひ覚えてほしい便利な「魅せる機能」もご紹介します。

1-1 メインメニューの見える化

『隣地も測量することになったのはいいけど、この現場の計算条件って？ 器械点はどこにしたかな？』
全ての疑問は、現場を開いた瞬間に解決できます。確認の手間を軽減、それが「見える化」！

◆地理院タイル背景表示

現場に行く前に状況の確認ができ、作業計画を立てやすくなります。



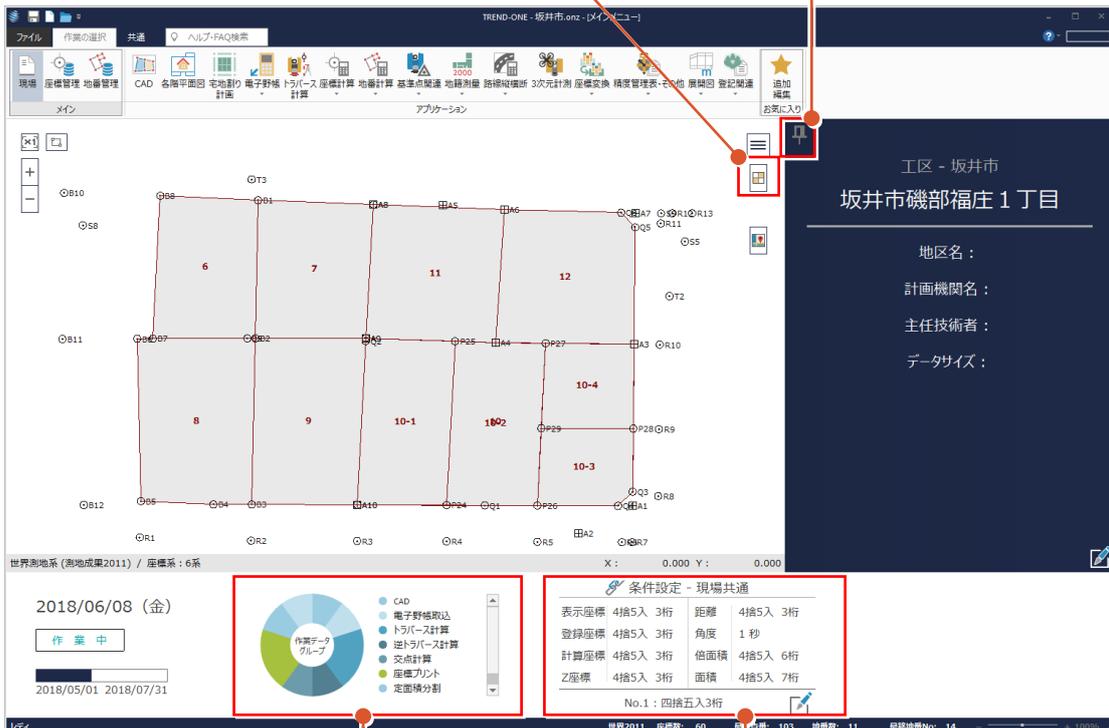
メニューで切り替えが可能です。

- ✓ 地理院タイル背景表示(M)
- 地理院タイル設定(S)
- ストリートビュー(L)
- 原図領域(O)
- 表示設定(A)



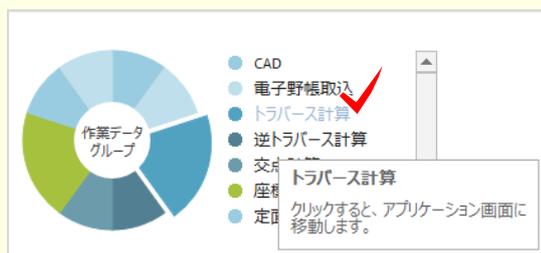
◆現場情報の表示設定

ピンをクリックすると現場情報が非表示になり、現場プロットを広く表示します。



◆作業データ情報

プログラム名をクリックするだけでメニューに移動。作業の継続や確認もスムーズにおこなえます。



◆条件設定

計算条件と登録時の条件名も表示され確認の手間いらず。

をクリックすると条件が変更でき、変更されたことを文字でもお知らせ。

条件設定 - 現場共通			
表示座標	4捨5入 3桁	距離	切り捨て 2桁
登録座標	4捨5入 3桁	角度	1 秒
計算座標	4捨5入 3桁	体面積	4捨5入 6桁
Z座標	4捨5入 3桁	面積	4捨5入 7桁
No.1 : 変更されています			

1-2 セルの画面で見える化

『座標を確認したいけど、小さくて見えない・・・確認したい項目はどこにあるの?』そんなお悩みはすぐに解決！
座標に地番にトラバース計算、縦横断でも全てはセルに入力。セルの操作をマスターし思いのままにカスタマイズしてみま
しょう。

■ セルのサイズ調整 (文字サイズの調整)

大きい表示で確認もラクラク！スライダーで見やすいサイズを見つけましょう。
画面右下のスライダーを [+] 方向に移動すると拡大、 [-] 方向に移動すると縮小表示します。

◆セルのサイズ調整
[%表示] をクリックして数値指定も可能です。

点番	点名	X座標	Y座標	Z座標	マーク
1	G-1	12856.508	24529.399	37.250	◎1.0-1-1
2	G-5	13029.771	24470.392	43.900	◎1.0-1-1
3	G-8	12810.390	24297.930	38.520	◎1.0-1-1
4	G-10	12688.721	24225.263	0.000	◎1.0-1-1
5	T1	12876.475	24437.301	0.000	◎1.0-1-1
6	T2	12846.330	24403.377	0.000	◎1.0-1-1
7	T3	12862.446	24346.118	0.000	◎1.0-1-1
8	A1	12817.365	24398.309	0.000	◎1.0-1-1

Memo

■画面全体の表示倍率変更について
全体の表示倍率を大きくするには [ファイル-オプション] で表示倍率を変更します。最大 150%まで設定可能ですが、ご使用のディスプレイの解像度、Windows の拡大率の設定により異なります。(拡大できない場合もあります)

■ ウィンドウ枠の固定

『この測点に杭種を入れよう。あれっ？点名が隠れちゃった・・・』そんな時には固定するセル項目の右隣セルを選択し、右クリックから「ウィンドウ枠の固定」。横にスクロールしても常に表示されるから、超便利！

横にスクロールしても、点名が常に見える状態に固定されます。

点番	点名	X座標	Y座標	Z座標	杭種
1	G-1	12856.508	24529.399	37.250	
2	G-5	13029.771	24470.392	43.900	
3	G-8	12810.390	24297.930	38.520	
4	G-10	12688.721	24225.263	0.000	
5	T1	12876.475	24437.301	0.000	
6	T2	12846.330	24403.377	0.000	
7	T3	12862.446	24346.118	0.000	
8	A1	12817.365	24398.309	0.000	
9	A2	12813.611	24398.309	0.000	
10	A3	12839.677	24398.309	0.000	
11	A4	12839.907	24398.309	0.000	
12	A5	12858.880	24398.309	0.000	
13	A6	12858.284	24398.309	0.000	
14	A7	12857.790	24398.309	0.000	
15	A8	12858.974	24398.309	0.000	
16	A9	12840.537	24398.309	0.000	
17	A10	12817.535	24398.309	0.000	
18	Q1	12817.456	24398.309	0.000	
19	Q2	12840.123	24398.309	0.000	

■ セル項目の表示設定

『ウィンドウ枠の固定は確かに便利！でも、あまり使わない備考とかは、なしにしたいな・・・。』
 そんな時には、項目名の上で右クリック！不要な項目のチェックをオフにするだけです。

◆セル項目の表示設定
 座標管理セルでは [点名] [X座標] [Y座標] の3項目は非表示に設定できません。

◆プロットについて
 プロットセルに [○] が表示されていると現場プロットに測点マークを表示します。ダブルクリックで空欄にし非表示にすることもできます。

■ セルの項目設定

『点名で区別しているけど、登録した座標はトラバー点？それとも・・・交点計算で計算したっけ？』
 そんな時には [セル] タブの [項目設定] メニューでお悩み解決！必要な項目だけをどの現場でも表示できます。

◆テンプレート管理
 設定した項目をテンプレート管理に [登録] すると新規現場作成時に同じ設定で表示されます。既存の現場では登録した条件を [読み込み] するだけで同じ設定になります。

[上へ] [下へ] で項目の表示順を変更可能

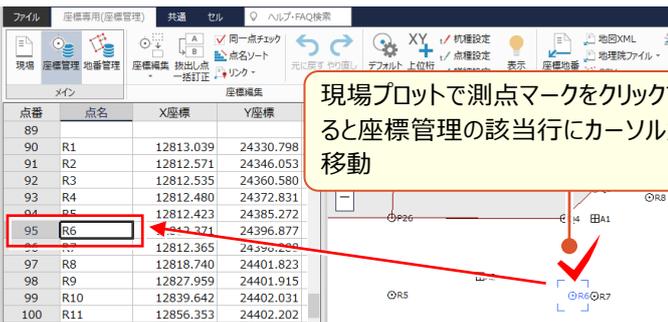
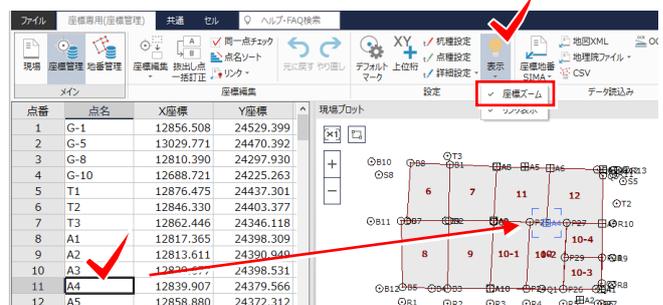
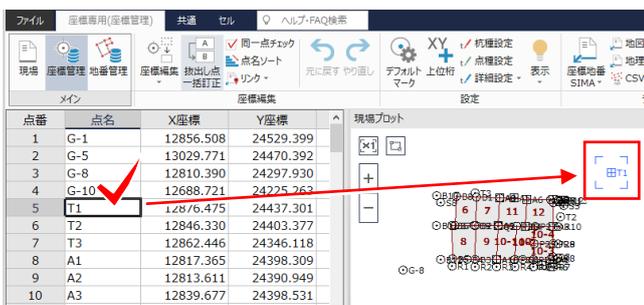
点名から座標登録に使用したプログラム名まで一度に確認可能

1-3 現場プロットで見える化

『あの座標どの辺だったかな?』座標や地番が増えると探すのもひと苦労・・・でも大丈夫!大きな現場でも簡単に見つけられます。よく使う機能は操作もいたってシンプル!クリックするだけで見つけませんか、その座標。

■ 座標ズーム

座標リストをクリックすると現場プロットでは色で位置をお知らせ。座標が増えたら現場プロットの中央で確認できる、それが[表示-座標ズーム]。現場プロットをある程度拡大しておく、より確認しやすくなります。



現場プロットで測点マークをクリックすると座標管理の該当行にカーソルが移動

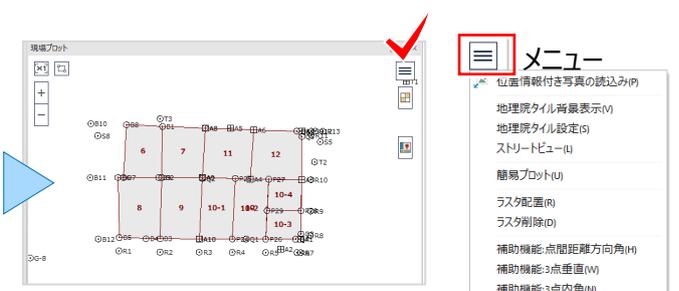
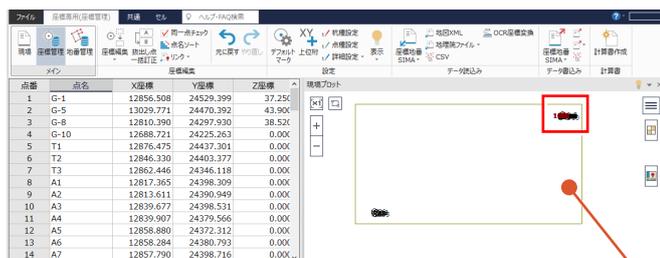
Memo

■ 色の変更について

選択した座標や地番を好きな色にしたい、そんな時には[ファイル-オプション]配色-共通タブの「ハイライト」の色を変更しましょう。

■ 原図領域の指定

『任意座標を公共座標に変換したら、現場プロットからは探せない・・・。』そんな時には見たい範囲を拡大表示。次に、メニューから「原図領域」をクリックするだけ!これだけでさらに拡大・縮小表示しても全体図に戻すとこのエリアに戻ります。簡単操作で作業効率が大幅アップ!



再度「原図領域」をクリックすると元の状態に戻ります。

1-4 入力画面で魅せる化

座標や地番の登録あるある『Kの付く測点っていくつまで登録したかな・・・地番はたしか10-5まで・・・』

そんな時には、最終点名+1を教えてくださいませんか。

ここでは、そんな便利な機能と合わせて、登録した座標値の確認方法や測点の検索方法もご紹介します。

■ 最終点名+1を自動入力

点名を入力しようとしたら、『あれっ、Sの測点いくつまで入力したかな・・・』そんな時にはSの後ろにたった1つ記号を入力するだけ。「S9」まで登録済みの場合、「S>」と入力しenterキーを押すと「S10」に変換されるんです！
地番名の場合は「10->」で「10-6」というように変換されます。ぜひご利用ください。

点番	点名	X座標	Y座標	Z座標
55	A8	12858.974	24362.822	0.000
56	A9	12840.537	24361.776	0.000
57	A10	12817.535	24360.597	0.000
58				
59				
60	S>			
61				
62				



点番	点名	X座標	Y座標	Z座標
55	A8	12858.974	24362.822	0.000
56	A9	12840.537	24361.776	0.000
57	A10	12817.535	24360.597	0.000
58				
59				
60	S10			
61				
62				

■ セルの読み上げ

『手入力した座標値は一人で確認しても間違いに気がつかないんだよね・・・。二人なら読み合わせできるのに。』
いいえ、一人でもできるんです読み合わせ！範囲選択し[セル]タブの[読み上げ]をクリックするだけ。

点番	点名	X座標	Y座標	Z座標
1	G-1	12856.508	24529.399	37.250
2	G-5	13029.771	24470.392	43.900
3	G-8	12810.390	24297.930	38.520
4	G-10	12688.721	24225.263	0.000
5	T1	12876.475	24437.301	0.000

◆ 読み上げオプション

音量や速度、数字の棒読み、桁読みの設定などが可能です。

■ 点名で検索

『探しているのは測点「B4」なんだけど・・・名前前で探せないのかな？』そんな時には、点名セルを選択し右クリックから[位置-検索]。大文字/小文字を気にしなくても検索できるから、気軽に入力OK！

点番	点名	X座標	Y座標	Z座標	マーク
1	G-1	12856.508	24529.399	37.250	○ 1.0-1-1
2	G-5	13029.771	24470.392	43.900	○ 1.0-1-1
3	G-8	12810.390	24297.930	38.520	○ 1.0-1-1
4	G-10	12688.721	24225.263	0.000	○ 1.0-1-1
5	T1	12876.475	24437.301	0.000	○ 1.0-1-1
6	T2				○ 1.0-1-1
7	T3				○ 1.0-1-1
8	A1				○ 1.0-1-1
9	A2				○ 1.0-1-1
10	A3				○ 1.0-1-1
11	A4	566	0.000	0.000	○ 1.0-1-1
12	A5	312	0.000	0.000	○ 1.0-1-1
13	A6	793	0.000	0.000	○ 1.0-1-1
14	A7	716	0.000	0.000	○ 1.0-1-1
15	A8	822	0.000	0.000	○ 1.0-1-1
16	A9	776	0.000	0.000	○ 1.0-1-1

「B4」「b4」のどちらでも検索したい場合チェックをオンにします。

点番	点名	X座標	Y座標	Z座標	マーク
63					
64					
65					
66					
67					
68					
69					
70					
71					
72					
73					
74					
75	B1	12859.553	24347.010	0.000	○ 1.0-1-1
76	B2	12840.499	24346.644	0.000	○ 1.0-1-1
77	B3	12817.571	24346.136	0.000	○ 1.0-1-1
78	B4	12817.574	24340.877	0.000	○ 1.0-1-1

■ 選択した測点を印刷：座標プリント

『見つけた測点をそのまま印刷できたらなあ…。メニューの「座標計算－座標プリント」でまた入力するしかないの?』
 せっかく検索した測点はそのまま印刷しちゃいましょう! 座標管理や地番管理から直接印刷できるんです。

印刷する測点を選択し「計算書作成」をクリック。右クリック「範囲選択」で現場プロットから範囲選択も可能。

計算書は「プレビュー選択」でグループとタイプを確認しながら選択可能。

Memo

■ 選択方法の解除について

選択した範囲内の座標や地番を解除するには、現場プロットで ctrl キーを押したまま測点マークをクリックします。

85	B11
86	B12
87	S5
88	S8

Ctrl キーを押したままクリック

■ セルの入力方法：範囲指定入力

『選び忘れた測点があったんだけど、1つずつ入力するしかないのかなあ…。点名に「R」が付いたものだけ入力したい。』
 そんな時には「ワイルドカード」や「_」を利用して一気に入力しましょう。入力方法は画面に表示されるから安心!

「R1_R5」と入力し enter キーを押します。(「R*」で R の全測点入力)

Memo

■ 入力方法の確認

点番や点名セルをクリックすると画面左下に入力方法が表示されます。

15	92	R3	12812.535	24360.580	0.000	⊙1.0-1-1
16	93	R4	12812.480	24372.831	0.000	⊙1.0-1-1
17	94	R5	12812.423	24385.272	0.000	⊙1.0-1-1
18						
19						
20						

点名の入力 ①ワイルドカード:*? ②範囲:_ ③地番より:#地番名 区切り:、一覧:①,②,③+[無変換]+[Enter]

1-5 リンク機能で見える化

『写真や計算書、登記情報の PDF を整理するのにいい方法ってない？ 座標や地番と一緒に管理できたらいいのに・・・』
データ入力や図面作成は、書類や写真を一緒に管理しておくことで確認の手間が省けて作業効率が格段にアップ！
しかもドラッグ＆ドロップするだけの簡単操作！ぜひ、座標と地番に関連付けておきましょう。

■ 写真や書類を関連付け：リンク機能

座標管理・地番管理にある [表示-リンク表示] で、写真や書類を関連付けて登録することができます。
エクスプローラーで写真フォルダーを開き、イメージ枠にドラッグ＆ドロップするだけ！

リンクイメージ枠（近景など）は [表示-リンク表示] のチェックがオンの場合表示されます。

ダブルクリックや右クリックのメニューから確認が可能です。

点番	点名	X座標	Y座標	Z座標	マーク	杭種
1	G-1	12856.508	24529.399	37.250	◎1.0-1-1	
2	G-5	13029.771	24470.392	43.900	◎1.0-1-1	
3	G-8	12810.390	24297.930	38.520	◎1.0-1-1	
4	G-10	12688.721	24225.263	0.000	◎1.0-1-1	
5	T1	12876.475	24437.301	0.000	田1.0-1-1	金属板
6	T2	12846.330	24403.377	0.000	◎1.0-1-1	市杭
7	T3	12862.446	24346.118	0.000	◎1.0-1-1	
8	A1	12817.365	24398.309	0.000	田1.0-1-1	
9	A2	12813.611	24390.949	0.000	田1.0-1-1	
10	A3	12839.677	24398.531	0.000	田1.0-1-1	市杭
11	A4	12839.907	24379.566	0.000	田1.0-1-1	市杭
12	A5	12858.880	24372.312	0.000	田1.0-1-1	
13	A6	12858.284	24380.793	0.000	田1.0-1-1	

💡 Memo

■ 一括でリンク設定する方法について

[リンク-ファイル名称からのリンク付け] ではフォルダーを指定するだけで一括でリンク設定が可能です。
リンクファイルの命名規則に則っているかが判断基準になりますので、あらかじめ、命名規則を入力し写真ファイル名と合わせておきましょう。

(登録例)

命名規則：近景 ⇒ 名称設定項目「点名」

フッター「K」

遠景 ⇒ 名称設定項目「点名」

フッター「E」

点名 A1 の場合：近景 ⇒ 写真ファイル名は「A1K」

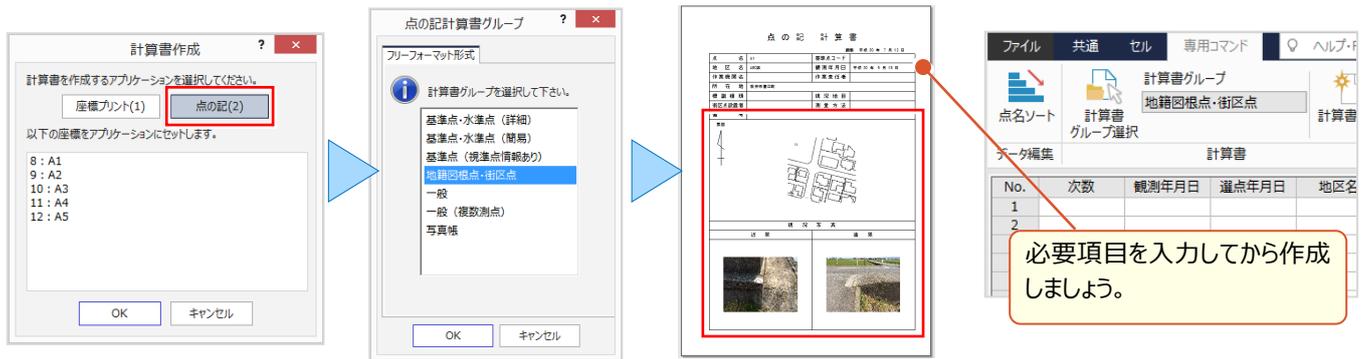
：遠景 ⇒ 写真ファイル名は「A1E」

点番	点名	X座標	Y座標	Z座標	マーク
1	G-1	12856.508	24529.399	37.250	◎1.0-1-1
2	G-5	13029.771	24470.392	43.900	◎1.0-1-1

リンク	対応	ヘッダー	名称設定項目	フッター
近景	◎		点名	K
遠景	○		点名	E
要図1	○		点名	Y1
要図2	○		点名	Y2
その他1	○		点名	O1
その他2	○		点名	O2

■ リンクを利用した点の記作成 : 点の記作成オプション 定価 (税抜) 15 万円

『リンク付けした写真や要図、何か便利な使い方あるかな?まさか...これで終わり?』そんなことはありません!
 点の記作成では写真と要図を自動配置し一括作成できるんです。[計算書作成-点の記]をクリックするだけ!

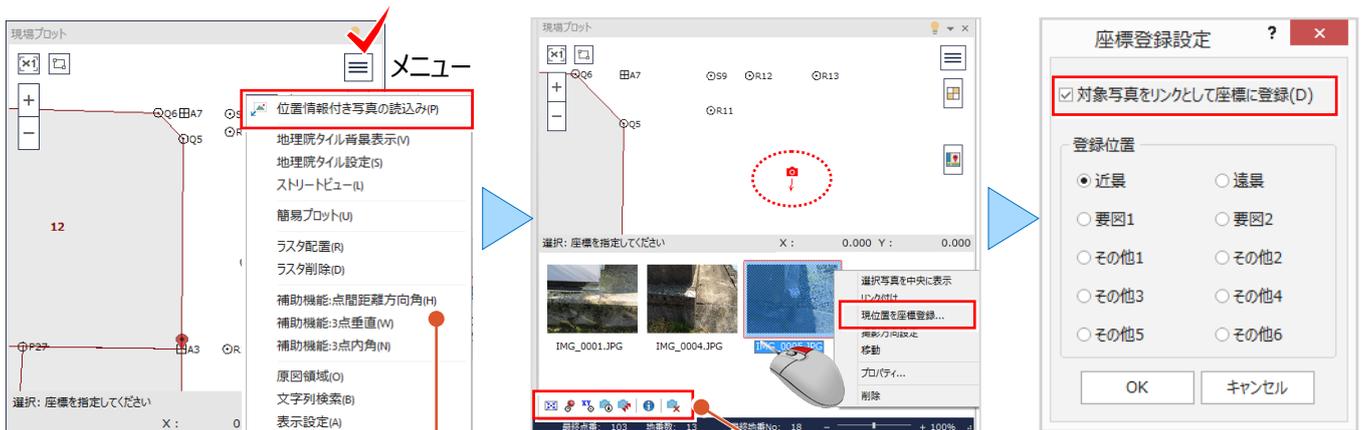


👉 図面への写真配置について:

「5 ラスタ (画像・写真) 機能あれこれ P.66~参照

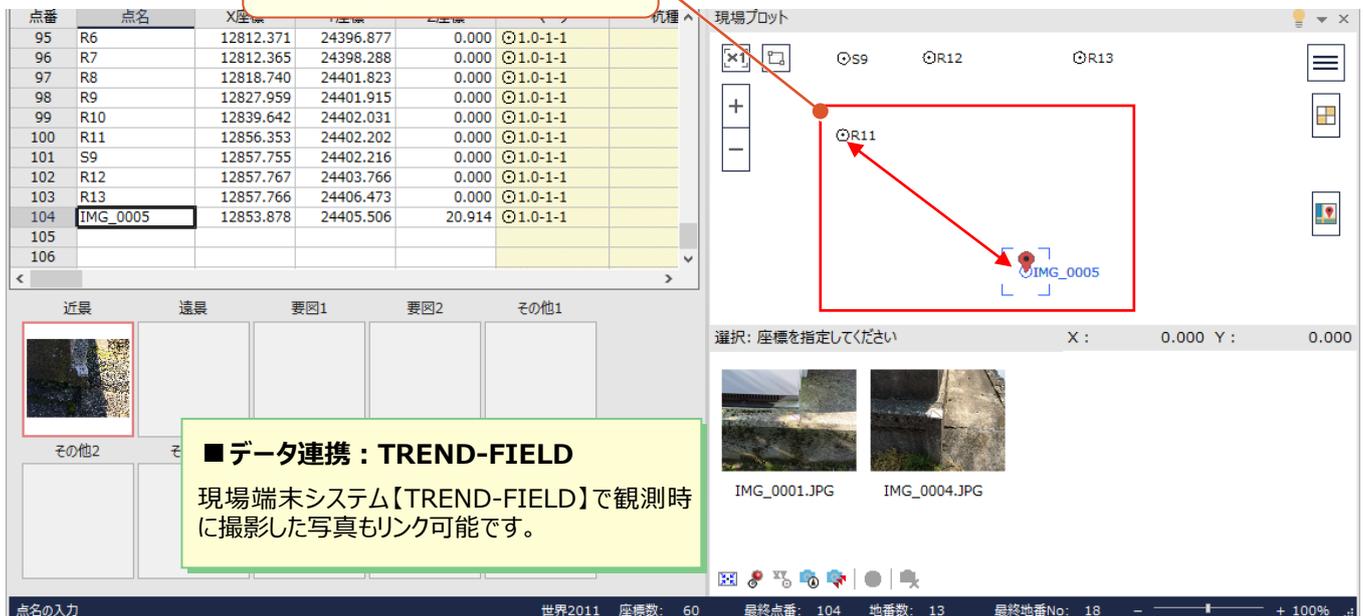
■ 位置情報付き写真の読み込み

『スマホで撮影した写真、位置情報付きなんだよね。こういう写真を利用できたら便利なんだけど...』
 お任せください!メニューから「位置情報付き写真の読み込み」をクリックし写真を選択するだけ。取り込んだ写真の情報から座標登録もできるんです!コンパス機能があれば撮影方向の取得もできるから、現場プロットで確認 OK!



座標登録後は測点間の距離を計測可能で、近くに基準点がない場合でも大まかな位置を把握できます。

コマンドボタンまたは右クリックから「現在位置を座標登録」を選択。



■ データ連携 : TREND-FIELD
 現場端末システム【TREND-FIELD】で観測時に撮影した写真もリンク可能です。

1-6 座標管理・地番管理で魅せる化

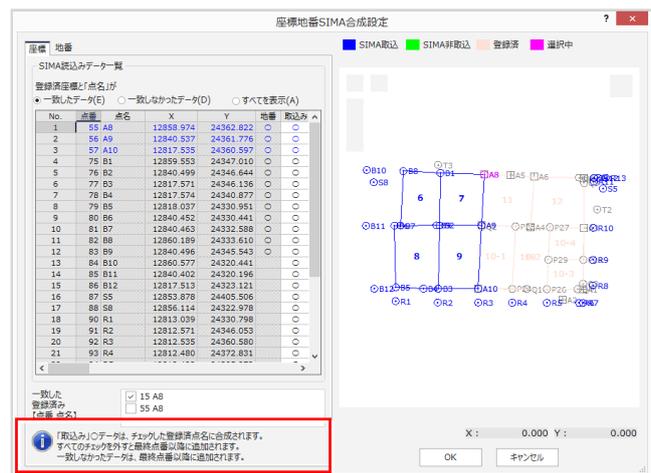
『SIMA データでやり取りすると同じ座標や地番が増えることってよくあるんだよね・・・何かいい方法ないのかな?』
取り込み時の設定にあるんです [上書き設定] ! 同一点、同一地番は取り込み時の条件設定が肝心です。
また、取り込み後の座標の空き行が気になる場合も大丈夫! 座標を移動しても地番と連携できる機能もご紹介します。

■ 座標地番 SIMA 読み込み：重複防止の上書き設定

座標管理・地番管理の [データ読み込み-座標地番 SIMA] をクリックし、読み込むファイルを選択。
[座標地番属性の設定] で「座標・地番の上書き条件を設定する」のチェックをオンに設定しましょう。
地番情報だけ先に入力済みの場合でも、地番名が一致していれば座標と地番を上書きで取り込むことも OK !

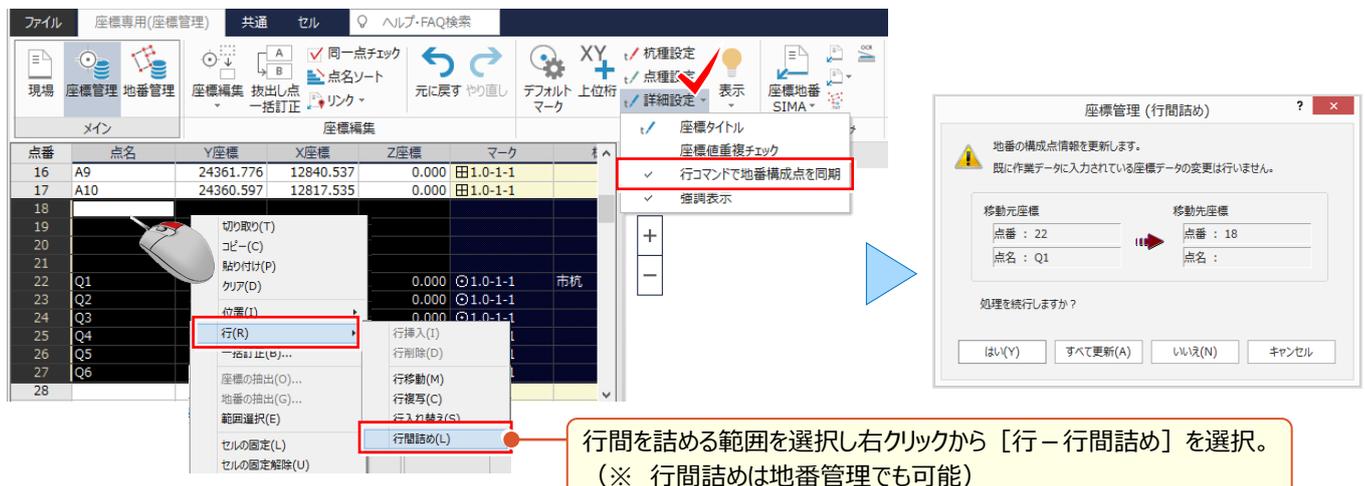


座標地番 SIMA [JPGIS] ファイル形式では地番情報 (地目や所有者、公簿面積など) も取り込むことができます。



■ 座標行間詰めと地番構成点の同期

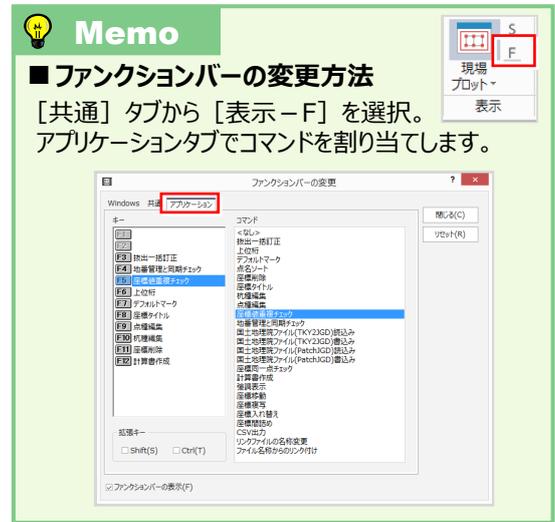
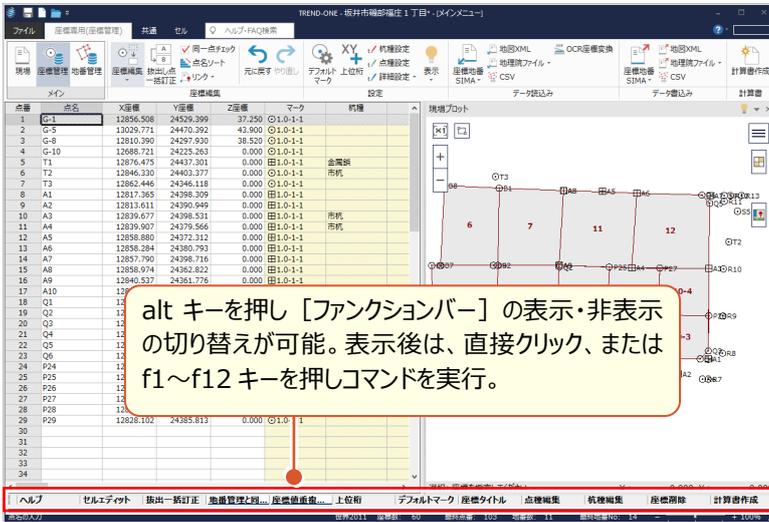
座標と座標の間が空いているのが気になる場合 [行-行間詰め] で解決できます!
でも、その前に [詳細設定-行コマンドで地番構成点を同期] のチェックをオン! これで地番も崩れしらずです。



1 見える・魅せる機能あれこれ

■ 使用頻度の高い機能を画面に表示：ファンクションバー表示

『詳細設定の「座標値重複チェック」とか便利な機能があるんだけど、もっと目立つところに出せないの？』
画面を有効に使えるように最初は非表示ですが、各メニューで使用頻度の高いコマンドは目立つ所に出せるんです！
しかも、alt キーを押すだけ！もちろん、コマンドの設定もできるから思いのままにカスタマイズしましょう。



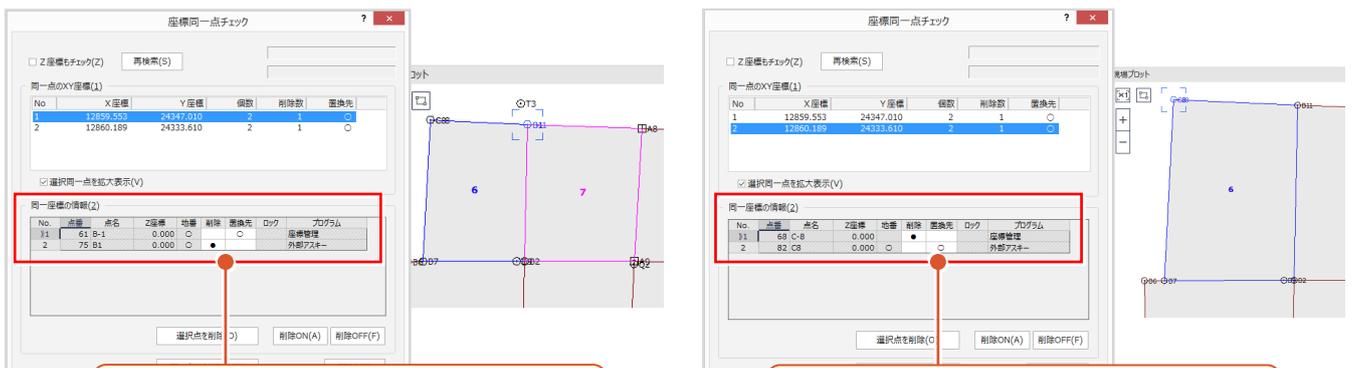
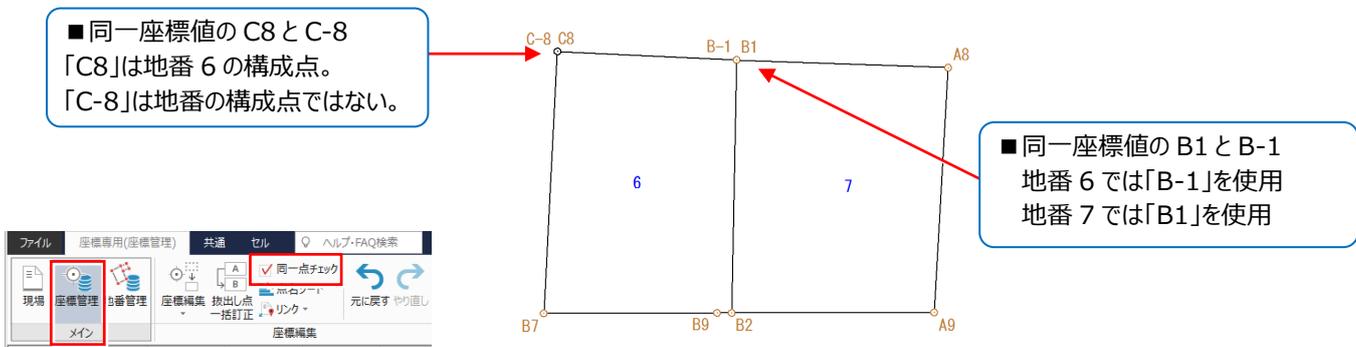
■ 座標の重複と隣接地番の構成点確認：同一点チェック

『座標の重複を未然に防ぐ機能がいろいろあるんだね。でも、登録済みの座標が既に重複しているかチェックできる？』
座標値が同じ、または座標値が同じでも点名が異なる測点については「同一点チェック」にお任せ下さい！
座標のチェックと同時に隣接地番の構成点チェックもおこない、地番を崩すことなく削除して整合性をはかります。

入力例：下記の隣接する2地番で「同一点チェック」を実行した場合

■ 同一座標値の C8 と C-8
「C8」は地番 6 の構成点。
「C-8」は地番の構成点ではない。

■ 同一座標値の B1 と B-1
地番 6 では「B-1」を使用
地番 7 では「B1」を使用



1-7 地番登録で魅せる化

『1つ2つならいいけど、筆数が多い時に知っておくと便利な登録方法ってあるのかな……。あるなら教えて！』

1筆ずつの登録は確実ですが、知って頂きたい便利な登録方法をいくつかご紹介します！

もちろん登録してから気が付く、地番の組み間違いをスピーディに修正する方法も合わせてご案内します。

■ 連続で地番を登録

地番管理で登録先を選択し「地番登録・編集」を選択します。地番名と構成点を入力後に「新規地番」をクリックするだけ。「編集内容を登録」を選択しOK！あとは必要な分操作を繰り返すだけ！

『あっ、さっき登録した地番間違えた！』そんな時には慌てず「前地番」で戻り訂正しちゃいましょう。

地番名、構成点を入力後「新規地番」をクリック。「前地番」「次地番」で前後地番の訂正が可能。

■ 複数地番の登録：結線登録

隣接する複数の地番を登録する場合に、全体形状を結線し分割線で区切りながら地番を作成していく機能、それが「特殊編集－結線登録」！作成した地番は一括登録でき、地番名も連番で登録することができます。

◆地番を結線入力
地番の外周を順に結線し最後は初点をクリック。「ペンUP」を選択し結線を解除。分割線の座標をクリックし、地番を分割。

◆地番を一括登録
「地番登録」を選択し、地番名を入力。「一括登録」をクリック。

◆地番を個別登録
「地番登録」を選択し、地番名を入力。登録する領域をクリック。

Memo

■ ファンクションバーから結線登録

ファンクションバーのf8に「結線登録」が割り当てられているため、ファンクションバーが非表示状態でもf8キーを押すと実行できます。

■ 隣接地番を利用した地番登録：追尾入力

『構成点が多いと大変なんだよなあ地番の入力…。やっと終わったと思ったら、隣接地番でもう1回クリックするの?』
 そんな時には「追尾入力」! 地番構成点を自動追尾してくれるから、始点、方向、終点をクリックするだけなんです。

追尾は一瞬! 3点クリックで39点の入力完了。
 終点を指定後に「追尾入力」をクリックし解除。
 次の構成点を順にクリックし「登録終了」です。

No.	地番No.	地番名	種類	PCNo	Up	位置	方向
23	111	003-329	1	5.282	25	59523	
24	112	003-330	1	5.281	37	67110	
25	113	003-331	1	5.282	40	82800	
26	114	003-332	1	5.282	43	29448	
27	115	003-333	1	5.282	46	40448	
28	116	003-334	1	5.282	49	51440	
29	117	003-335	1	5.280	53	03027	
30	118	003-336	1	5.282	56	14227	
31	119	003-337	1	5.282	59	25300	
32	120	003-338	1	5.282	62	36327	
33	121	003-339	1	5.282	65	47411	
34	122	003-340	1	5.282	68	58517	
35	123	003-341	1	5.281	72	10088	
36	124	003-342	1	5.282	75	21311	
37	125	003-343	1	5.282	78	32445	
38	21	002-381	1	49	749	80	08053
39	213	001-491	1				

■ 地番構成点の編集

『構成点を拾い忘れた! あっ余計な点も拾ってる…。[地番登録・編集]で該当行を見つけないのかな?』
 [行挿入・削除]もいいですが、そんな時には「特殊編集-構成点編集」にお任せください!
 現場プロット上で「追加・訂正・削除」がイメージ通りにサクッとできるんです。

◆構成点を追加
 追加する辺、追加する点の順にクリック。

Memo

■ 複数地番で共有している測点を編集した場合

複数の地番で共有する構成点を編集した場合、該当地番全てに対して変更が加えられます。ここでは同時に4地番の構成点が変わります。

◆構成点を訂正
 訂正元の点、訂正先の点を順にクリック。

■ 地番構成点チェック：隣接構成点検索

『隣あった地番なのに片方の地番で拾った点をもう片方では拾っていない…。全部目視でチェックなのかな？』

こんな時には [地番構成点チェック] ！隣接地番の構成点をチェックし、違っている場合には自動修正してくれるんです。

構成点をチェックする地番を入力し [検索] をクリック。

地番No	地番名	構成点	求積属性	地目 (現況)	所有者
1	51-21	9	求積地番1	畑	丸岡 花子
2	51-22	13	求積地番1	宅地	丸岡 花子
3	52-10	5	求積地番1	宅地	福井 太郎
4	52-11	9	求積地番1	宅地	福井 太郎

隣接構成点検索 地番重複検索

隣接判定距離(D): 0.0010 m 検索(S)

隣接構成点検索 地番重複検索

隣接判定距離(D): 0.0010 m 検索(S)

変更地番 No 3 地番名 52-10

点番 点1 変更点 点2

変更前 点番 26 変更点 25

変更後 点番 26 93 25

点名 D2 D1-2 D1

個別登録(R) 一括登録(A) スキップ(K) 登録中止(P)

「52-10」の地番構成点に入っていない測点が増え点として表示され [個別登録] (または [一括登録]) で構成点として追加されます。

■ 地番構成点チェック：ねじれ検索

『構成点が多かったり測点同士が隣あっていると、拾う順番を間違えることあるんだよね…。簡単に探せないのかな？』

[地番構成点チェック] では、ねじれのチェックも可能！検索後は [地番登録・編集] ですぐに修正が可能です。

構成点をチェックする地番を入力し [地番重複検索] タブで [検索] 。

構成点をチェックする地番を入力し [地番重複検索] タブで [検索] 。

ねじれた地番の修正は [編集] をクリックし表示される [地番登録 編集] で修正。

No.	地番No	地番名	検索結果	処理済	重複地番
11	4	52-11	ねじれ	編集	

1-8 座標管理・地番管理で作業効率化

『地番の場合、所有者や地目ごとに計算書を作ることが多いけど抽出するのが大変・・・簡単に抽出する方法ある？』
所有者や地目など地番情報を入力しておけば、条件を設定するだけで並び替え OK！それが [グループ編集] です。
ここでは、座標登録・地番登録でさらに効率アップ間違いなしの便利な機能も合わせてご紹介します。

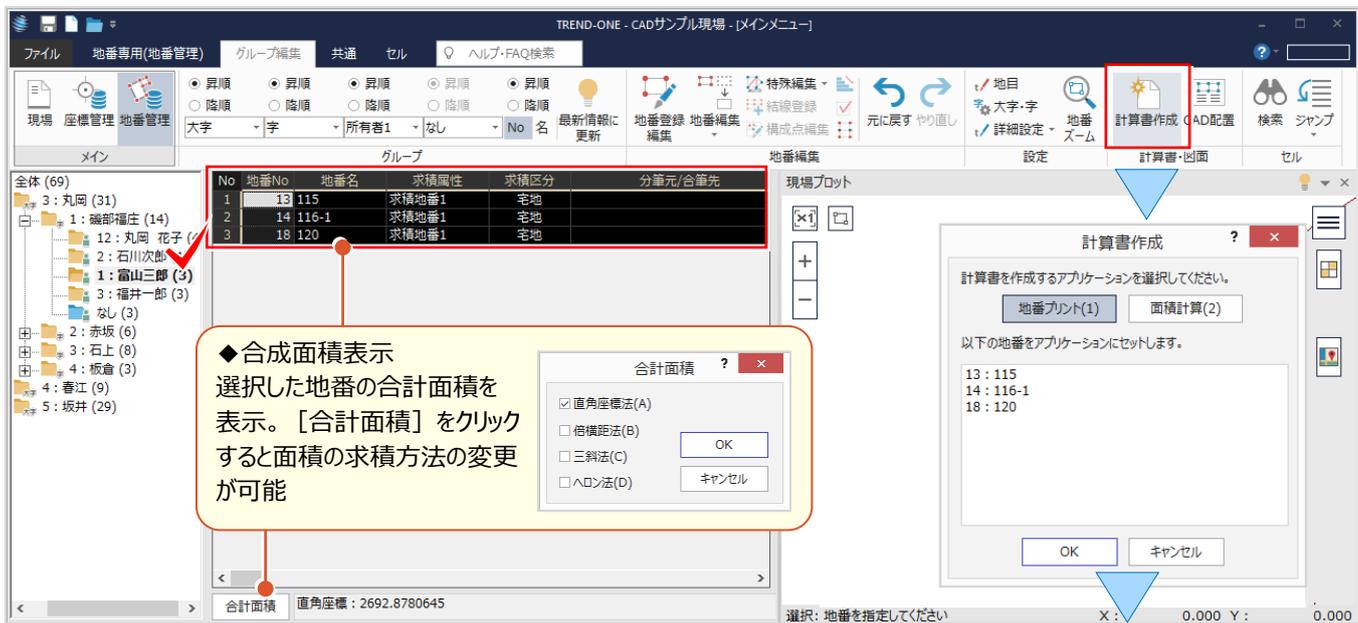
■ 地番の並び替え：グループ編集

地番管理で [グループ編集] タブをクリック。後は条件を選択し [最新情報に更新] をクリックするだけ！
所有者ごとにグループ化して表示も可能だから、所有者ごとの一覧もこれでばっちり作成できちゃいます！



■ 抽出した地番を印刷：地番プリント・面積計算書

抽出後は印刷するだけ！所有者ごとなどグループ化して表示される地番を選択し [計算書作成 - 地番プリント]！
印刷しなくても、地番を選択するだけで面積確認も即座に OK です。



◆合成面積表示
選択した地番の合計面積を表示。[合計面積] をクリックすると面積の求積方法の変更が可能

計算書は「プレビュー選択」でグループとタイプを確認しながら選択可能。

◆面積集計表
[計算書作成 - 面積計算] で作成可能。

地番プリント 計算書 平成 30 年 6 月 25 日

現場名: CADサンプル現場

No	地番No	地番名	構成点	三斜	合計	座標法面積	三斜面積
1	13115		9			400.005870	121.00
2	14116-1		7			250.0045975	75.62
3	18120		14			2042.8678800	617.96

面積集計表 Page 2

現場名: CADサンプル現場 平成 30 年 6 月 25 日

所有者	No	地番No	地番名	面積	地積	坪数
富山三郎	1	13115		400.005870	400.00	121.00
富山三郎	2	14116-1		250.0045975	250.00	75.62
富山三郎	3	18120		2042.8678800	2042.86	617.96
合計		3筆		2692.8783475	2692.86	814.58



抽出した地番で図面作成：CAD 配置（測量図配置）

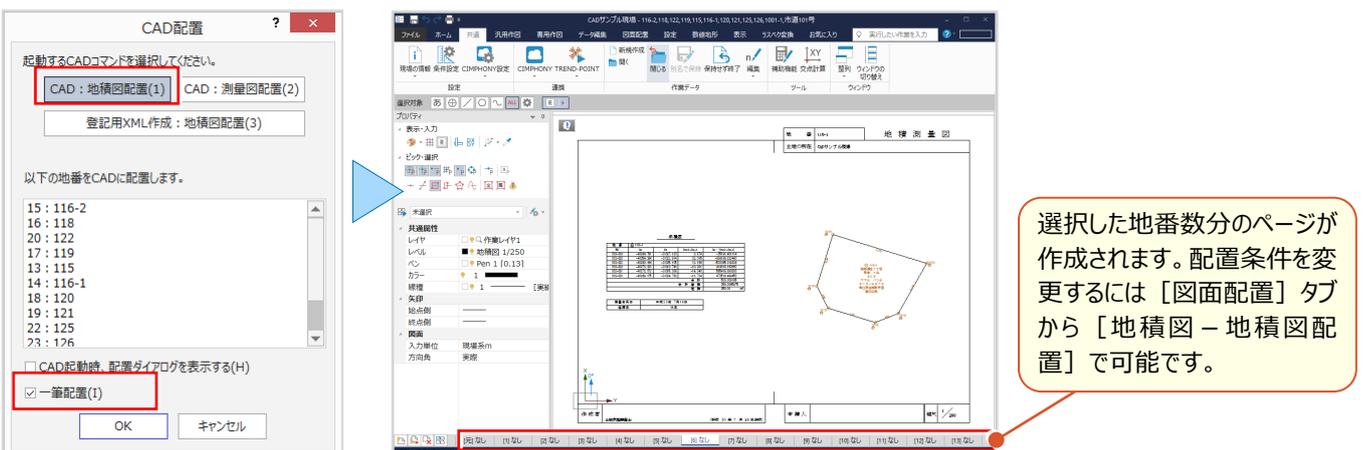
「グループ編集」で字や所有者ごとに地番を選択したら、このまま図面作成に GO！

もちろん通常の「地番専用（地番管理）」からも CAD ヘアアクセス OK。地番を選択するだけで丈量図も地積図もあつという間に配置完了です！



抽出した地番で図面作成：CAD 配置（地積図配置 – 一筆配置）

複数の地番を選択しても、地積測量図の配置ができます！一筆ずつ配置する場合には「一筆配置」のチェックをオンにして OK するだけ！選択した地番数分の地積測量図の配置が完了です。



■ エクセルファイルから地番情報入力：コピー＆貼り付け

『エクセルの地番情報を入力するのにいい方法ないかな？座標は確かコピー＆貼り付けできたけど、地番はどう？』

地番管理でもコピー＆貼り付けで地番情報を入力することができます。セル項目の順番を確認してからおこなひましょう。

セル項目の順序を合わせておくと、範囲選択しコピーした場合でも入力可能セルにのみ情報が貼り付きます。

地番No	地番名	構成点	求積属性	地目(現況)	所有者
1	10	その他1	畑	福井一郎	
2	11	その他1	宅地	石川次郎	
3	12	その他1	宅地	富山三郎	

■ CSVファイルから地番情報入力：CSV読み込み

『エクセルからのコピー＆貼り付けもいいけど地番数が多いと範囲指定が大変。オプションとかでまとめて取り込みできる？』

CSVファイルならファイルを指定するだけで一気に取り込み可能！しかも標準機能！最初にフォーマット設定が必要ですが、設定は書込みして受け渡しも可能です。

座標管理または地番管理から「データ読み込み - CSV」を選択。

「フォーマット設定」で地番部の情報の並び順などを設定。エクセルでセルの並びを合わせるのと同じような作業です。

「フリーフォーマット」を選択しファイルを指定。

■ 計算書を利用した座標・地番登録：表OCR変換オプション 定価(税抜) ¥150,000

『計算書を見ながら座標の手入力、これが一番手間なんだよね。間違ると地番登録しても面積合わないし・・・』

そんな時には「表OCR変換」オプションはいかがでしょう。スキャンした求積表から座標値を読み取り、形状や面積を確認して一括で地番登録までできちゃいます！

座標管理または地番管理から「OCR地番変換」を選択。

作業の開始

範囲を指定すると変換したデータを表示。[追加]で次ページでの作業を継続可能。リストで確認して[登録]。

1-9 測地系と計算書で見える化

『計算書に世界測地系って表示されるんだけど、この現場ってまだ変換前……。どこかに設定あるのかな？』

測地系は[現場の情報]で設定します。測地系の設定はSIMAデータ出力時にも情報として書き込むことができます。また、ここでは測地系が関係するプログラムと計算書の機能についてご紹介します。

■ 測地系の設定

メインメニューから[現場の情報]を選択します。[測地系]をクリックし該当する測地系を選択します。

[現場の情報]は各プログラムの[共通]タブからでも選択でき、同様に変更が可能です。日本測地系選択時には計算書に測地系は表示されません。

◆座標系の設定
設定した座標系はトラバース計算、基準点測量、座標変換（世界測地系）などで参照されます。

■ 座標変換（世界測地系）：バイリニア（日本→世界）

日本測地系の座標を世界測地系の座標に変換します。

メインメニューから[座標変換-座標変換（世界測地系）]を選択します。変換方法を選択後[パラメータファイル]をクリックしファイルを指定後[座標変換]をクリック！計算書作成では日本測量協会検定済の帳票も作成可能。

4つの変換方法から選択。
世界測地系を日本測地系への逆変換も可能。

No.	変換元点番	変換元点名	変換元X	変換元Y	変換後点番	変換後点名	変換後X	変換後Y	基点
1	1	A1	25226.199	65620.062	1	A1	25570.828	65359.373	
2	2	A2	25204.663	65605.224	2	A2	25549.292	65344.535	
3	3	A3	25187.782	65599.319	3	A3	25532.411	65338.629	
4	4	A4	25179.090	65612.940	4	A4	25523.719	65352.250	
5	5	A5	25203.179	65624.393	5	A5	25547.808	65363.704	
6	6	A6	25210.726	65619.699	6	A6	25555.355	65359.010	
7	7	A7	25215.799	65619.060	7	A7	25560.428	65358.371	
8	8	A8	25224.936	65619.388	8	A8	25569.565	65358.699	
9	9	B1	25178.819	65613.365	9	B1	25523.448	65352.675	
10							11.688	65371.105	

変換元点番と変換後点番が同じ場合、座標は上書きされるため地番は崩れません。
上書きしたくない場合には点番を変更してください。

■ 座標変換（世界測地系）：アフィン変換

バイリニア法（TKY2JGD）で変換時に使用している基準点（三角点）が改算・改測された場合、その点を基点として「アフィン変換」をおこなう方が高い精度を得られます。（※上記基準点がバイリニア法で変換されている場合はアフィン変換で基点にする意味合いがないためバイリニア法で変換する方が望ましい。）

変換方法「アフィン」を選択し「座標変換」をクリック！計算書作成では日本測量協会検定済の帳票も作成可能。

◆アフィン変換
基点となる座標は3点以上必要。

Memo

■ 基点の座標値（変換元・変換後）が「座標管理」に登録されていない場合
 変換元の座標が登録されていない場合
 変換元 X、Y を入力します。

変換後の座標が登録されていない場合
 基点の○を表示し、変換後 X、Y を入力します。

未登録基点の座標を座標管理に登録するには
 「変換後点番」「変換後点名」を入力します。

変換後点番・点名を入力すると基点が「座標管理」に登録されます。

■ 地殻変動に伴う座標値・標高値補正：座標補正（PatchJGD 準拠）⇒ PatchJGD 補正

国土地理院提供の「PatchJGD」に準拠した座標補正変換プログラムです。座標管理に登録済みの座標に対して、地震などの地殻変動に伴う座標値・標高値補正をおこなうことができ、「測地成果 2011」の成果が作成できます。

座標系と補正対象を選択し、選択対象の補正パラメータを指定します。

◆補正パラメータについて
 国土地理院ホームページから提供されている「座標（XY）補正用」「標高（Z）補正用」をダウンロードしてください。適用範囲をご確認の上ご利用ください。
<http://www.gsi.go.jp/sokuchikijun/sokuchikijun41012.html>

2 点間の座標差を確認：座標変換（PatchJGD 準拠）⇒ 点検（座標）

補正前後の座標や、公図から復元測量したデータなど、2点間の距離を比較し較差の判定をおこなうことができます。PatchJGD 準拠の座標変換というネーミングにこだわらず、設計時と現地観測時の座標比較などにもご利用ください。



点検（座標）を選択し、新旧2点（比較する2点）を入力します。座標差などが表示されます。

- ◆設定 - 参照先
「PatchJGD 補正結果」と「登録済み座標」から選択します。
- ◆データ編集
データの入力方法は「測点指定」「地番指定」、または「PatchJGD 補正対象地番の構成辺取込み」から選択します。
「地番指定」の場合は現場プロットから指定します。



精度管理表

作業名	上地区画	地区名	〇〇地区	計測時期	〇〇期	作業種類
期	期	作業	〇〇〇#	作業経長	測計	測量業者/種別
C1	X1	25185.440		25184.901		
	X2	25170.443	-15.387	25169.534	-15.367	-0.030
C2	Y1	65598.443		65598.316		
	Y2	65595.489	-13.204	65596.182	-13.164	-0.020
C3	X1	25170.443		25169.534		
	X2	25159.363	-11.080	25150.474	-11.060	-0.020
C4	Y1	65595.489		65596.182		
	Y2	65603.561	16.122	65604.234	16.102	0.020

Memo

■メニューについて
補正前後の座標値で面積の比較も可能です。

☞ 図面に座標のズレと移動量を配置する方法について：「4 CAD 応用 使って納得機能あれこれ」P.63 参照

計算書の編集：ページ通しで文字の置き換え

『計算書の日付は消したいけど、平成とか年月日は残したい。フリーフォーマットで作るんだよね…。うまく作れるかな？』日付に関しては様々な計算書で対応が必要ですが、全てを作成するのは大変です。こんな時には【ページ通し - 文字の置換】！複数ページある計算書も一度の操作で全ページ修正 OK！

◆日付を空欄にする
日付だけではなく平成や年月日まで消えてしまいます。

Page 1
世界測地系 (測地成果2011)
平成 30年 6月 18日

Page 1
世界測地系 (測地成果2011)
平成 30年 6月 18日

Page 2
世界測地系 (測地成果2011)
平成 年 月 日

Page 1
世界測地系 (測地成果2011)
平成 年 月 日

Page 1
世界測地系 (測地成果2011)
平成 年 月 日

	Y 座標	Z 座標
04	65670.422	0.000
24	65669.556	0.000

■ 計算書の作成条件を確認

『データを追加して計算書を作成したら、距離が違ってる…。どこか条件を変更したのかな。確認する方法ある？』

困った時には計算書名の上で右クリックから【作成条件】を選択するだけ！計算書作成時の条件が表示され、直前の計算書と異なる作成条件は「赤字」で教えてくれます。

作成条件を表示したまま比較する計算書をクリック。異なる「距離」の条件を赤字で表示。

Memo

■ 計算書に関するメニュー

右クリックで表示されるコマンドはリボンにも表示され、【選択削除】では不要になった計算書を複数指定しまとめて削除することができます。また、作成した計算書は Excel 形式で書き込むことが可能です。



■ 画面にあるはずのプロパティが消えたら：パネル位置の初期化

『計算書の文字を訂正しようとしたら、いつもあるはずのプロパティがない…。どうしよう、表示する方法教えて！』

プロパティなどのパネルは「フローティング」状態にすると個別に表示され、移動が可能になりますが、小さく表示されることがあり、画面の下に隠れることも。そんな時には「パネルの初期化」ボタン をクリック！元の位置に表示されます。

▼マークをクリックするとメニューが表示されます。「ドッキング」のチェックがオンの場合には画面内に固定表示。

プロパティが画面内に固定表示される「ドッキング」状態。

プロパティが個別に表示される「フローティング」状態。

Memo

■ CAD や各階平面図の場合

パネルの初期化ボタンは【設定】タブ【設定】グループの右隅にあります。

